

「2018 チャレンジ！勇気をもって、自信をもって」というスローガンの下、生徒たちはこの夏、アメリカ・フィンランド・タイでの海外研修に臨みます。7/13（金）には、参加する生徒と教員による3コース合同の結団式が開催され、各コースの代表生徒が決意表明を行いました。



### アメリカ サウスカロライナ州 チャールストン市

【平成30年7月23日～8月6日】

私たちは「Don't be afraid. Change myself.」という目標で研修に臨む。恐れずに挑戦し、それぞれの課題を克服して自分を変える気持ちで挑みたい。研究テーマである『企業や個人で活躍する女性グローバル・リーダー研究』の学習のため、アメリカで活躍する女性リーダーからお話を伺い、女性キャリアの知識や制度を学び、日米両方の視点からグローバル・リーダーの定義づけができるよう、それぞれが積極的に研究を深めたい。一人ひとりの成果や成長はもちろん、16人全員で協力し一つの大きな収穫が得られる研修にしていきたい。



### フィンランド ヘルシンキ市

【平成30年8月26日～8月31日】

私たちは研修に向け「積極的に活動しまとめに向けて学びを深める」という目標を立てた。教育、企業、政府機関の3つの分野にわたる5つの施設に訪問し、男女平等を推進するフィンランドの教育方法や働き方、どのような制度やルールがあるのかを学ぶ。同世代の高校生とのディスカッションにも積極的に取り組み、視野を広げたい。帰国後は日本とフィンランドを比較し、日本が男女平等な社会に近づけるように具体策を考え、社会に発信していけるよう努める。



### タイ王国 チェンライ県

【平成30年8月20日～8月27日】

研修では、「タイの教育」に関する研究を中心として取り組みたい。教育の分野は多岐にわたるので、夏休み中に内容を深く検討し研修に備えたい。タイは自然環境、価値観、インフラなどが違うので戸惑うこともあると思うが、日本の環境に感謝できるように、現地ならではの体験を大切にしたいと思う。タイ研修をより多く充実したものにするためにも、ポジティブに物事をとらえられるように全力で臨みたい。



決意表明を受け、會川先生からは「皆さんには、日本人として国の代表であると意識し、立ち振る舞いや考え方に責任を持って行動することを期待しています。SGH校の生徒の一員であると自覚し、世界を自分の目で観て、自分の耳で聴いて、自分の肌で感じ、自分の仮説との相違点、課題に対する解決策を考え、そしてそれを発信できるよう主体性をもって研修に挑んでください。」というエールが送られました。

今年の夏はどのような出会いと学びが待っているでしょうか。期待と決意を胸に、生徒たちは研修地へと向かいます。